



谷田部通寿「因幡の白兔図鐙」(部分)
江戸時代 個人蔵

海野勝珠「舞臺図」(部分)
明治26年(1905) 東京国立近代美術館蔵
Image:TMImage Archives

海野清「彩金三ノ鼓並雲鶴紋打敷」(部分)
昭和4年(1929) 東京国立近代美術館蔵

介川芳彦「替簀付赤銅虫形香合」(本体のみ)
昭和37年(1962) 東京国立近代美術館蔵

萩谷勝平「龍図鐙」
江戸時代後期 個人蔵

石黒美男「盛夏の空」
平成25年(2013) 個人蔵

初代北川北仙「牡鹿置物」
大正10年(1921) 個人蔵

松田正己「アリスの道標・森の籠舟」
平成2年(1990) 茨城県近代美術館蔵

山口みちよ「目分椅子」
平成17年(2005) 個人蔵

いばらき工芸大全Ⅱ 金工の巻

平成28年1月2日 日 — 3月6日 日

お正月は1月2日から開館

主催 | 茨城県陶芸美術館 助成 | 芸術文化振興基金
開館時間 | 午前9時30分から午後5時まで(入場は午後4時30分まで)
休館日 | 月曜日(ただし、1月11日(月・祝)は開館、翌12日(火)は休館)
観覧料 | 一般720(570)円 高大生510(410)円 小中生260(210)円
*()内は20名以上の団体料金。満70歳以上の方、障害者手帳、療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方[ただし1人につき1人まで]は無料。
冬季休業期間をのぞく土曜日は高校生以下無料。

茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM



〒309-1611 茨城県笠間市笠間23-15番地(笠間芸術の森公園内)
Tel. 0296-70-0011 Fax. 0296-70-0012 URL <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp>

いばらき工芸大全Ⅱ 金工の巻

本展は、当館が陶芸にとどまらず工芸全般に視野を広げて、茨城ゆかりの工芸品の魅力を紹介するシリーズの第2弾です。鏡や馬具など古墳からの出土品にはじまり、寺社に伝わる遺宝、一橋徳川家の伝来品、そして明治から現代までの作家の作品を紹介します。

中でも江戸時代半ばに興隆した水戸金工と呼ばれる刀装具の技は、廃刀令により需要を失った明治以降も、海野勝珉(1844-1915)らの活躍により近代の金工作品の制作に継承されたことが注目されます。刀装具製作の技を身につけていた勝珉は、その技に更に磨きをかけて博覧会出品に合わせた作品の制作を行い受賞を重ねる一方、岡倉天心(1863-1913)にその技量を認められ、東京美術学校(現在の東京藝術大学)の草創期から教鞭をとり、金工教育の面でも大きな功績を残しました。その息子、海野清(1884-1956)も同校で教鞭をとり、伝統の技を継承しつつ正倉院宝物からエジプト美術にまでも目を向けた作風を築き上げ、昭和30年(1955)には重要無形文化財「彫金」の保持者(人間国宝)に認定されました。この他にも帝展に入選を重ね茨城工芸会の創立にも参加した介川秀芳(1898-1975)、戦後の日展で活躍した飯田美郎(1921-)など、現在に至るまで多くの茨城ゆかりの金工作家が活躍しています。

金工に焦点をあてた本展により、茨城の金工作品や、時代を超えて受け継がれた技の魅力が見直される機会となれば幸いです。



夏目幸子「銀赤銅切り嵌め小箱『海の思い出』」
平成18年(2006) 個人蔵



大内睦弘「祈り」平成8年(1996) 個人蔵



磯崎美亜「鹿置物」
昭和9年頃(c.1934) 個人蔵



飯田美郎「金波銀波の壺」
昭和55年(1980) 茨城県近代美術館蔵



二代・海野美盛「月に編幅図手板」東京藝術大学蔵



海野建夫「馳」昭和時代後期
株式会社 常陽銀行蔵



「鑿」南北朝～室町時代 南圓寺蔵



中野忠祥「遊ぶ蛙」昭和32年(1957)
東京藝術大学蔵

関連行事 ※詳細は後日、ホームページ等にてお知らせします。

講演会「東京美術学校における海野家の活躍－勝珉・美盛(二代)・清」

日時|2月6日(土)13:30～15:00 場所|当館1階多目的ホール(聴講無料)

講師|黒川廣子氏(東京藝術大学大学美術館准教授)

定員|120名(先着順)

ワークショップ「錫の器を作ろう」

日時|2月20日(土)10:30～15:00(10:00受付開始)

講師|石黒美男氏(本展出品作家)

定員|高校生以上20名(1月20日(水)午前9時より電話とファックスによる先着申込)

参加費|材料費の一部として1,500円、及び企画展チケットが必要です。

ギャラリートーク ※企画展チケットが必要です。

1月23日(土)、2月27日(土) 各13:30～

交通案内

電車 / JR常磐線上野～友部駅(特急70分) 友部駅から「かさま観光周遊バス」(料金100円、定員36名)で20分 友部駅でJR水戸線に乗り換え笠間駅(9分)下車、笠間駅からタクシーを利用して5分
車 / 北関東自動車道、友部インターから10分、笠間西インターから15分 常磐自動車道、若間インターから25分、水戸インターから30分 駐車場/笠間芸術の森公園北駐車場(300台)をご利用ください。



ご
い
っ
し
よ
に

「広重二つの東海道五拾三次・保永堂版×丸清版」
平成28年1月2日(土)～3月27日(日) 笠間日動美術館 Tel 0296-72-2160

「幸せはどこにある?」
平成27年11月21日(土)～平成28年1月17日(日)

「あした天気になーあれ!」雨・晴・風の美術」
平成28年2月20日(土)～次年度 茨城県近代美術館 Tel 029-243-5111



本展の美術普及事業には多くの収益金の一部が使われています。

割引券
この券をお持ちの際は、展覧会
を前日料金(団体料金に
向かって)にてご観覧
頂けます。